

医薬品の適正使用についてのアンケート結果

医薬品は適正に使用することで、病気の治療等に役立つものですが、複数の医療機関を受診することで、同じ効き目の薬を重複して処方されたり、薬の飲み合わせによる副作用が発生したりすることがあります。

医薬品を安全に確実に使用していくためには、薬局や薬剤師の役割が重要です。

また、近年では患者負担や医療費を減らすため、国をあげてジェネリック医薬品（後発医薬品）（※1）の使用を推進しているところです。

そこで、県では、医薬品の適正使用を進めていく上での施策の参考とするため、アンケート調査を実施しました。

★調査時期：平成26年10月

★対象者：県政モニター396人

★回答者：292人（回答率73.7%）

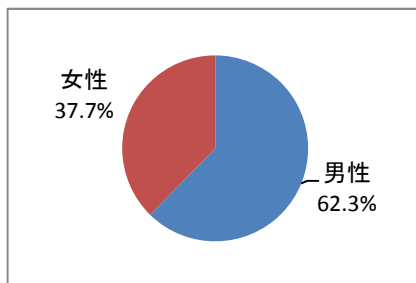
★担当課：薬務感染症対策課

（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

【回答者の属性】

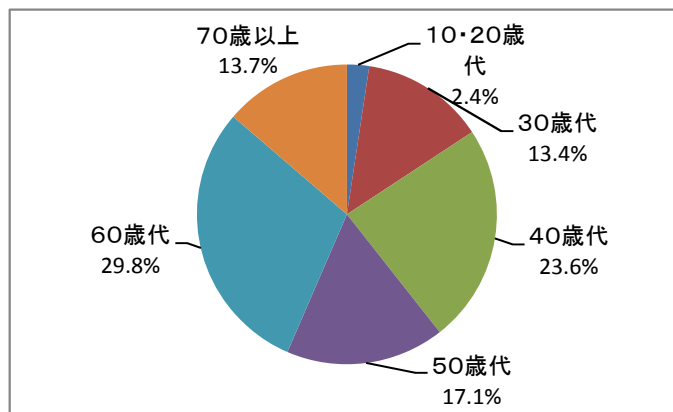
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	182	62.3
女性	110	37.7
合計	292	100.0



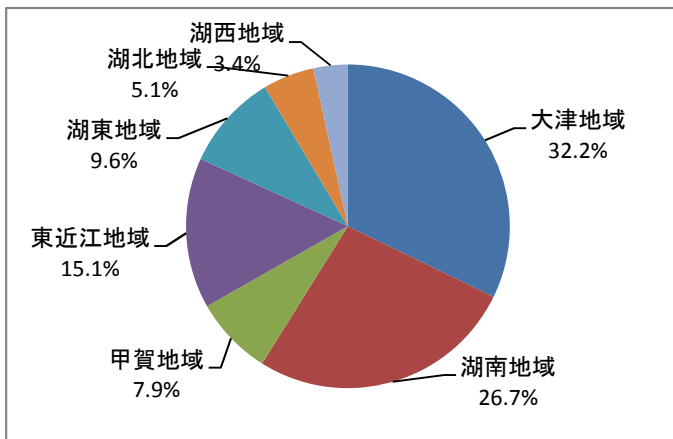
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	7	2.4
30歳代	39	13.4
40歳代	69	23.6
50歳代	50	17.1
60歳代	87	29.8
70歳以上	40	13.7
合計	292	100.0



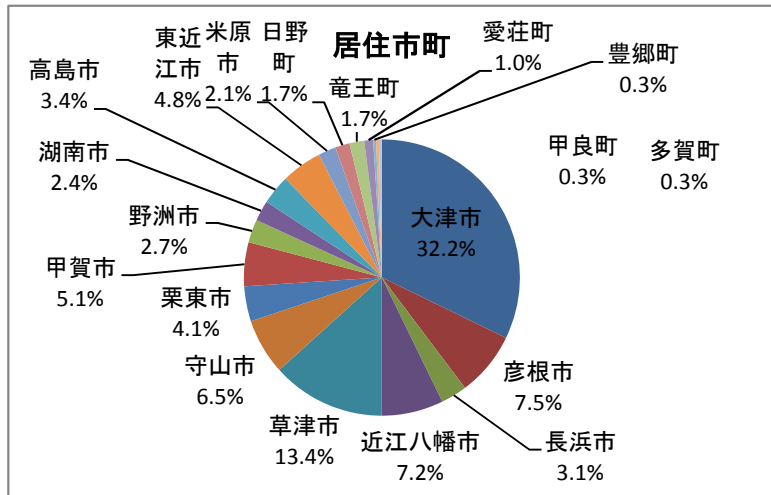
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	94	32.2
湖南地域	78	26.7
甲賀地域	23	7.9
東近江地域	44	15.1
湖東地域	28	9.6
湖北地域	15	5.1
湖西地域	10	3.4
合計	292	100.0



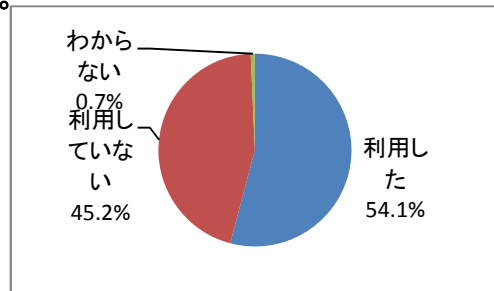
問1 あなたが現在お住まいの市または町名をご記入ください。

項目	人数(人)	割合(%)
大津市	94	32.2%
彦根市	22	7.5%
長浜市	9	3.1%
近江八幡市	21	7.2%
草津市	39	13.4%
守山市	19	6.5%
栗東市	12	4.1%
甲賀市	15	5.1%
野洲市	8	2.7%
湖南市	7	2.4%
高島市	10	3.4%
東近江市	14	4.8%
米原市	6	2.1%
日野町	5	1.7%
竜王町	5	1.7%
愛荘町	3	1.0%
豊郷町	1	0.3%
甲良町	1	0.3%
多賀町	1	0.3%
合計	292	100.0%



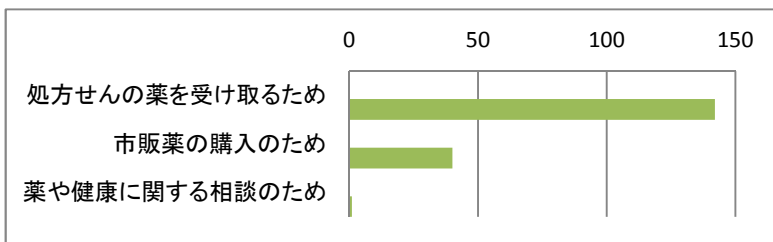
問2 あなたは過去1カ月以内に薬局を利用しましたか。
(回答チェックは1つだけ。 n=292)

項目	人数(人)	割合(%)
利用した	158	54.1%
利用していない	132	45.2%
わからない	2	0.7%
合計	292	100.0%



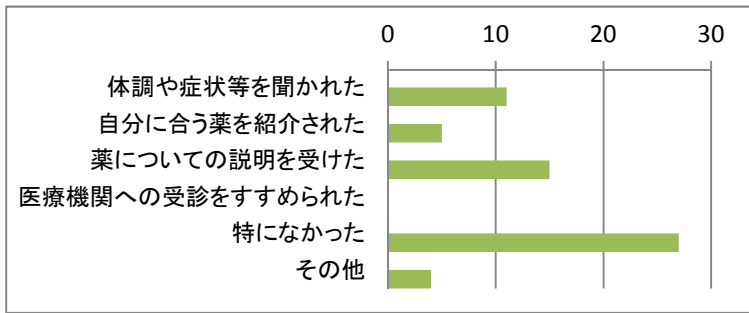
問3 問2で過去1カ月以内に薬局を利用したと回答された方にお尋ねします。薬局を利用した目的は何ですか。(回答チェックはいくつでも可。 n=158)

項目	人数(人)	割合(%)
処方せんの薬を受け取るため	142	89.9%
市販薬の購入のため	40	25.3%
薬や健康に関する相談のため	1	0.6%



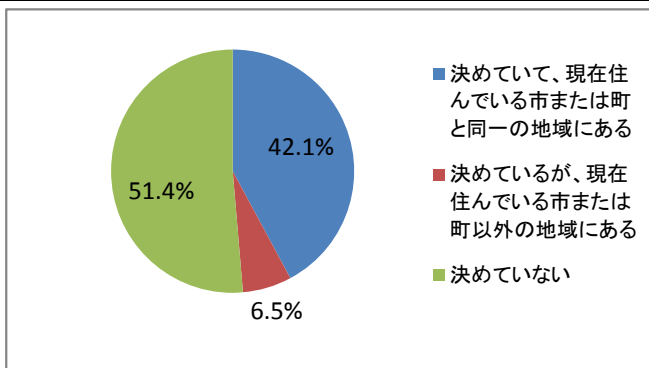
問4 問3で市販薬の購入のために薬局を利用したと回答された方にお尋ねします。市販薬を購入したとき、薬剤師はどのように対応しましたか。(回答チェックはいくつでも可。 n=40)

項目	人数(人)	割合(%)
体調や症状等を聞かれた	11	27.5%
自分に合う薬を紹介された	5	12.5%
薬についての説明を受けた	15	37.5%
医療機関への受診をすすめられた	0	0.0%
特になかった	27	67.5%
その他	4	10.0%



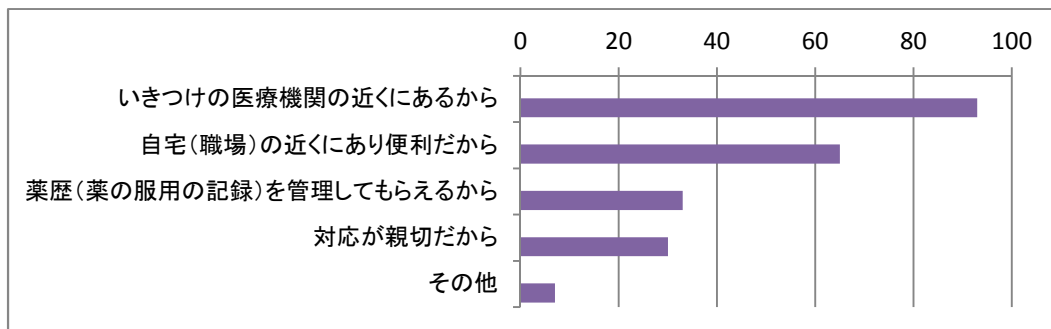
問5 病院や診療所で受け取った処方箋を持っていったり、薬のことについて気軽に相談できる特定の薬局(かかりつけ薬局)を決めていますか。(回答チェックは1つだけ。 n=292)

項目	人数(人)	割合(%)
決めていて、現在住んでいる市または町と同一の地域にある	123	42.1%
決めているが、現在住んでいる市または町以外の地域にある	19	6.5%
決めていない	150	51.4%
合計	292	100.0%



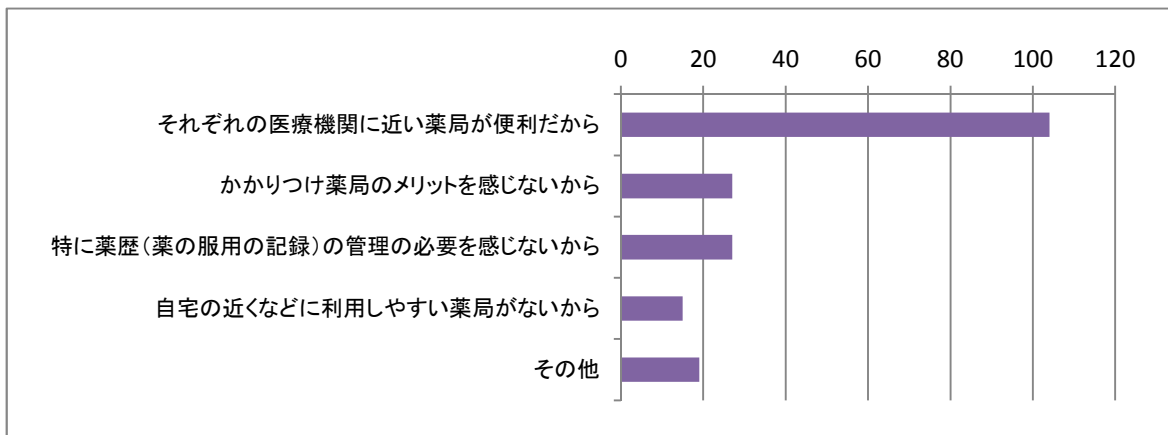
問6 問5で、かかりつけ薬局を決めていると回答された方にお尋ねします。かかりつけ薬局を決めた理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可。 n=142)

項目	人数(人)	割合(%)
いきつけの医療機関の近くにあるから	93	65.5%
自宅(職場)の近くにあり便利だから	65	45.8%
薬歴(薬の服用の記録)を管理してもらえるから	33	23.2%
対応が親切だから	30	21.1%
その他	7	4.9%



問7 問5でかかりつけ薬局を決めていないと回答された方にお尋ねします。かかりつけ薬局を決めていない理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可。 n=150)

項目	人数(人)	割合(%)
それぞれの医療機関に近い薬局が便利だから	104	69.3%
かかりつけ薬局のメリットを感じないから	27	18.0%
特に薬歴(薬の服用の記録)の管理の必要を感じないから	27	18.0%
自宅の近くなどに利用しやすい薬局がないから	15	10.0%
その他	19	12.7%

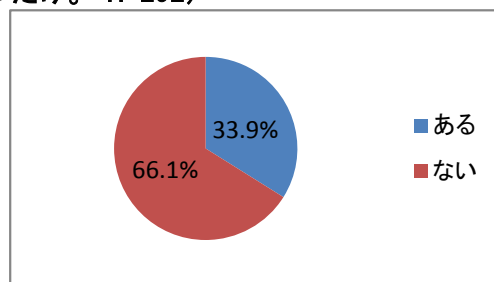


[その他の意見から抜粋]

- ・病院が遠方地にあり、住居近辺の商業施設に併設の複数の薬局にて購入している。
- ・医療機関から離れた調剤薬局だと備蓄にムラがあり、特定の薬局製剤やあまり流通していない医薬品など入手困難な場合があり、結局門前薬局に行った方が二度手間にならずに済む場合があるから

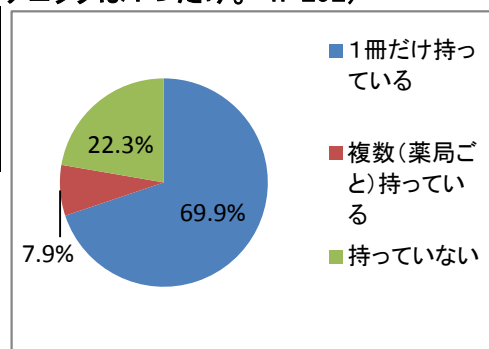
問8 今までに病院や診療所で受け取った処方せんを薬局へ持っていった時に、処方された薬の内容について、薬剤師から医師に問い合わせをする必要があることや、問い合わせた内容・結果などを説明されたことがありますか。(回答チェックは1つだけ。 n=292)

項目	人数(人)	割合(%)
ある	99	33.9%
ない	193	66.1%
合計	292	100.0%



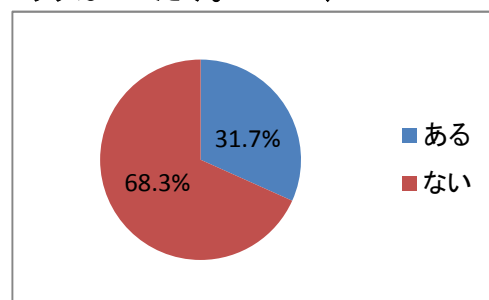
問9 あなたはお薬手帳(※2)を持っていますか。(回答チェックは1つだけ。 n=292)

項目	人数(人)	割合(%)
1冊だけ持っている	204	69.9%
複数(薬局ごと)持っている	23	7.9%
持っていない	65	22.3%
合計	292	100.0%



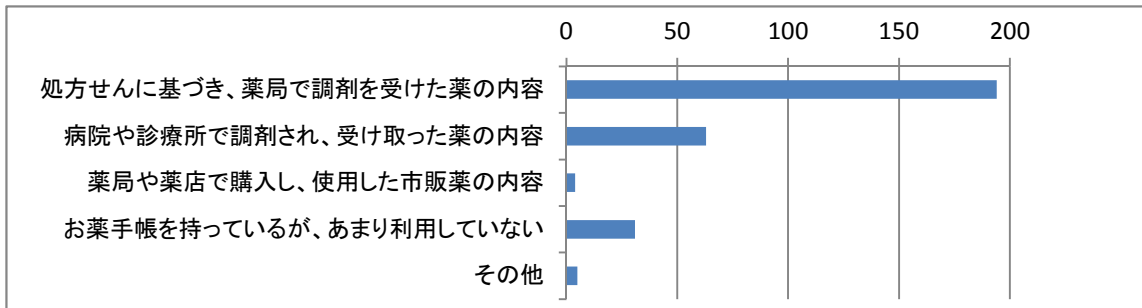
問10 問9でお薬手帳を持っていると回答された方にお尋ねします。病院や診療所を受診した時に、お薬手帳を医師に見せたことはありますか。(回答チェックは1つだけ。 n=227)

項目	人数(人)	割合(%)
ある	72	31.7%
ない	155	68.3%
合計	227	100.0%



問11 問9でお薬手帳を持っていると回答された方にお尋ねします。お薬手帳に記入またはシールを貼っている内容は何か。(回答チェックはいくつでも可。 n=227)

項目	人数(人)	割合(%)
処方せんに基づき、薬局で調剤を受けた薬の内容	194	85.5%
病院や診療所で調剤され、受け取った薬の内容	63	27.8%
薬局や薬店で購入し、使用した市販薬の内容	4	1.8%
お薬手帳を持っているが、あまり利用していない	31	13.7%
その他	5	2.2%

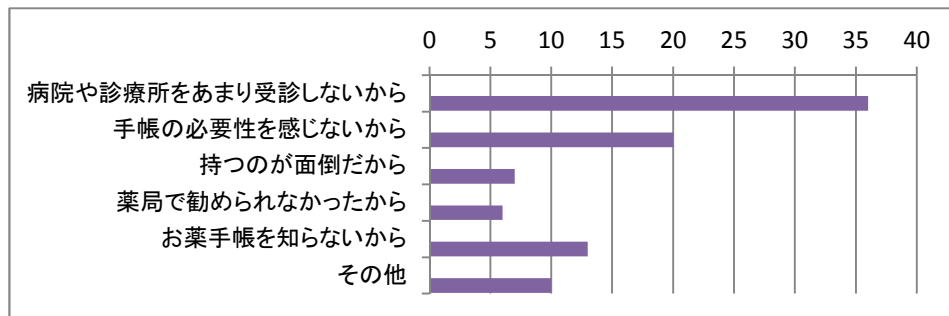


[その他の意見から抜粋]

- ・アレルギー、服用量の増減など
- ・医療機関名 保険医氏名 受け取った日付 摂取に注意する飲食物 注意事項 調剤薬局店名 住所 電話番号

問12 問9でお薬手帳を持っていないと回答された方にお尋ねします。お薬手帳を持っていない理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可。 n=65)

項目	人数(人)	割合(%)
病院や診療所をあまり受診しないから	36	55.4%
手帳の必要性を感じないから	20	30.8%
持つのが面倒だから	7	10.8%
薬局で勧められなかったから	6	9.2%
お薬手帳を知らないから	13	20.0%
その他	10	15.4%

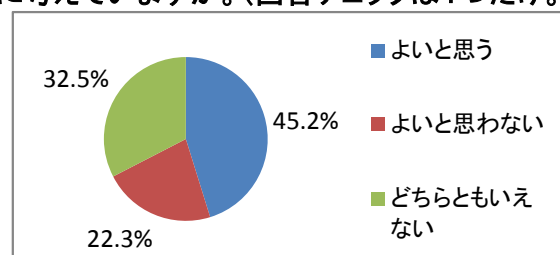


[その他の意見から抜粋]

- ・費用がかかるから
- ・かかりつけ薬局で履歴を管理してもらっているから
- ・飲んでいる薬を全て把握しているから
- ・個人情報色々聞かれるのは不快(医師だけで充分)

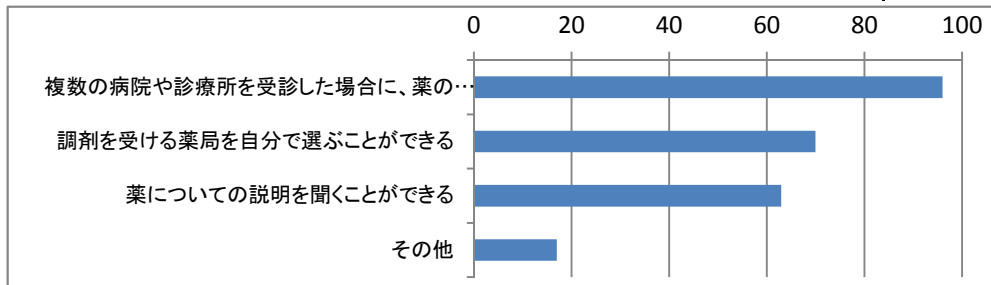
問13 あなたは医薬分業(※3)についてどのように考えていますか。(回答チェックは1つだけ。 n=292)

項目	人数(人)	割合(%)
よいと思う	132	45.2%
よいと思わない	65	22.3%
どちらともいえない	95	32.5%
合計	292	100.0%



問14 問13で医薬分業についてよいと思うと回答された方にお尋ねします。医薬分業がよいと思う理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可。 n=132)

項目	人数(人)	割合(%)
複数の病院や診療所を受診した場合に、薬の重複や飲み合わせを防ぐことができる	96	72.7%
調剤を受ける薬局を自分で選ぶことができる	70	53.0%
薬についての説明を聞くことができる	63	47.7%
その他	17	12.9%

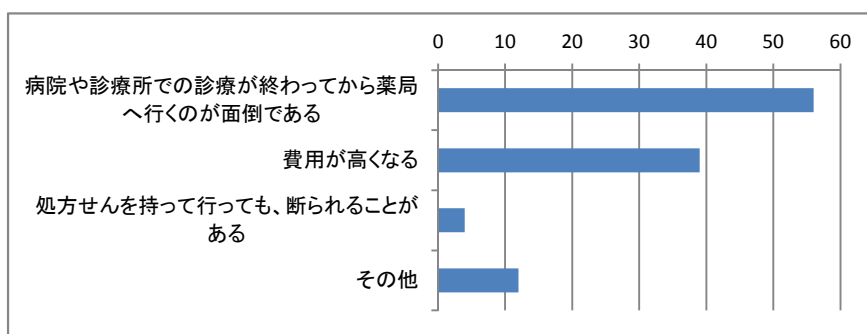


[その他の意見から抜粋]

- ・病院での待ち時間を減らせたり、薬についての疑問点なども薬剤師さんになら聞きやすいから
- ・薬剤師による処方チェックがある
- ・病院では2時間待ちで1分間診察も珍しくない。薬局を選び、薬についての説明を落ち着いて聞ける点が良い。
- ・医師が処方した薬に対して、剤形を変えてもらうなど頼みやすい(医師は忙しそうでそこまで頼みにくいので)

問15 問13で医薬分業についてよいと思わないと回答された方にお尋ねします。医薬分業がよいと思わない理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可。 n=65)

項目	人数(人)	割合(%)
病院や診療所での診療が終わってから薬局へ行くのが面倒である	56	86.2%
費用が高くなる	39	60.0%
処方せんを持って行っても、断られることがある	4	6.2%
その他	12	18.5%

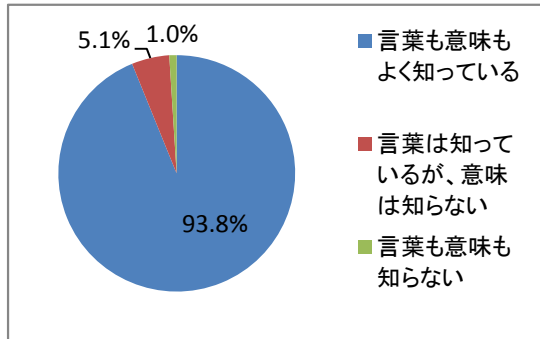


[その他の意見から抜粋]

- ・診療所で処方箋をもらうだけで費用がかかる。病気の子供を連れて、移動しないといけない。処方箋をもらうとき、薬を見て、診察と違うことを言われたり、同じことを何度も説明しないといけないと不安になる。
- ・プライバシー保護と言いつつ、症状をあれこれ受付で言わなければならない、流行りの病気の時特にあからさまに嫌な顔をされて舌打ちして出て行かれたりする。他の人の耳にも入ってしまうので、病状を受付で伝えるのは勇気がいるので、病状の確認が必要なのはわかっているので、他の人に聞かれないような工夫をしてくれれば問題ないと思います。

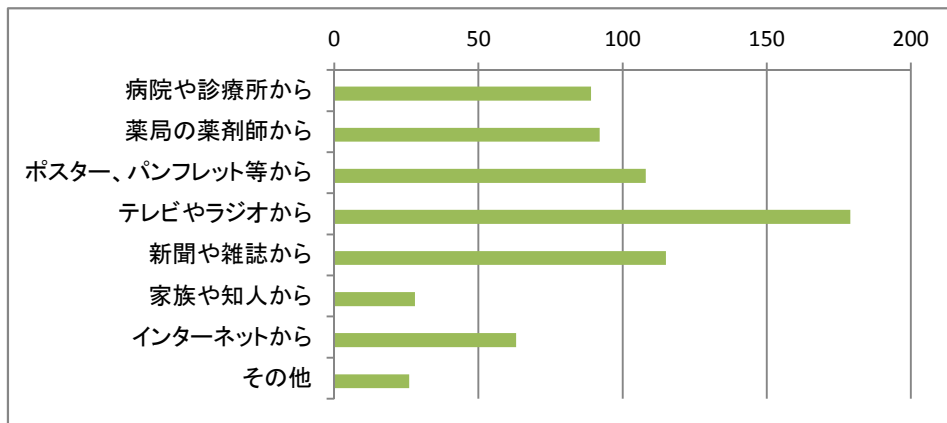
問16 あなたはジェネリック医薬品（後発医薬品）を知っていますか。（回答チェックは1つだけ。n=292）

項目	人数(人)	割合(%)
言葉も意味もよく知っている	274	93.8%
言葉は知っているが、意味は知らない	15	5.1%
言葉も意味も知らない	3	1.0%
合計	292	100.0%



問17 問16でジェネリック医薬品を知っていると回答された方にお尋ねします。ジェネリック医薬品（後発医薬品）のことに、どのように知りましたか。（回答チェックはいくつでも可。n=289）

項目	人数(人)	割合(%)
病院や診療所から	89	30.8%
薬局の薬剤師から	92	31.8%
ポスター、パンフレット等から	108	37.4%
テレビやラジオから	179	61.9%
新聞や雑誌から	115	39.8%
家族や知人から	28	9.7%
インターネットから	63	21.8%
その他	26	9.0%

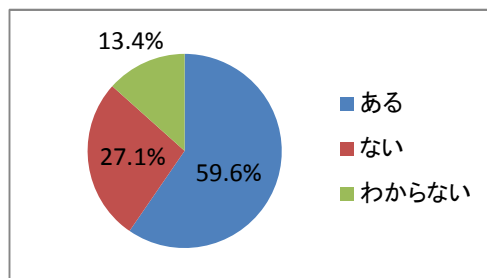


[その他の意見から抜粋]

- ・健康保険組合からの案内で
- ・勤め先の健康管理部門からの冊子
- ・行政から

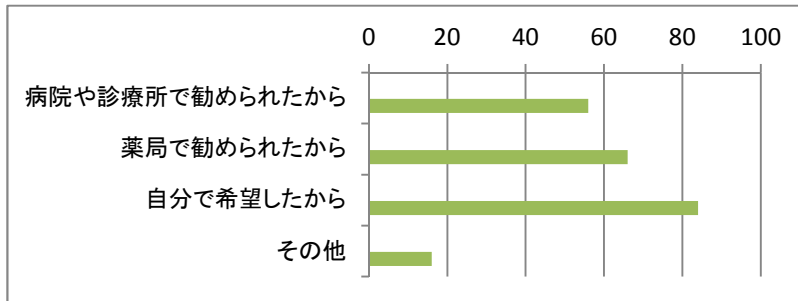
問18 あなたは今までにジェネリック医薬品（後発医薬品）を実際に使用したことがありますか。（回答チェックは1つだけ。n=292）

項目	人数(人)	割合(%)
ある	174	59.6%
ない	79	27.1%
わからない	39	13.4%
合計	292	100.0%



問19 問18で今までにジェネリック医薬品を使用したことがあると回答された方にお尋ねします。ジェネリック医薬品(後発医薬品)を使用した理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可。n=174)

項目	人数(人)	割合(%)
病院や診療所で勧められたから	56	32.2%
薬局で勧められたから	66	37.9%
自分で希望したから	84	48.3%
その他	16	9.2%

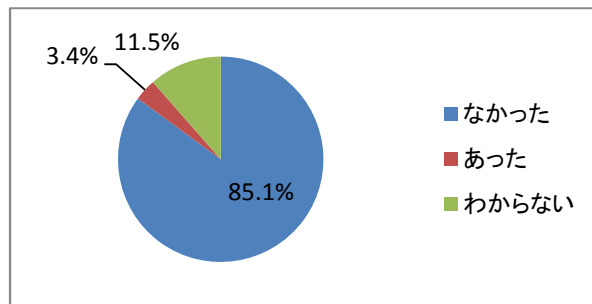


[その他の意見から抜粋]

- ・費用が安くなるから
- ・健保組合から変更したら薬代が少し安くなる(金額差)を教えてもらえる

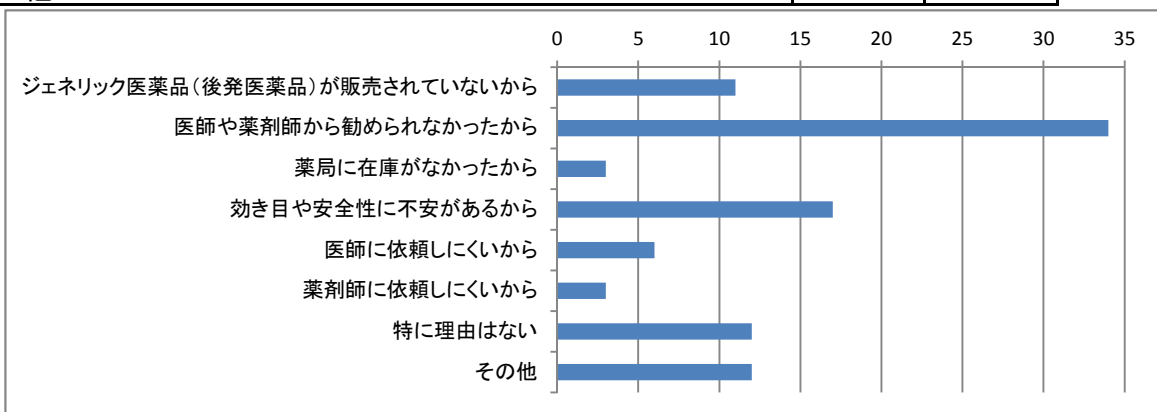
問20 問18で今までにジェネリック医薬品を使用したことがあると回答された方にお尋ねします。ジェネリック医薬品(後発医薬品)を実際に使用して、何か不都合はありましたか。(回答チェックは1つだけ。n=174)

項目	人数(人)	割合(%)
なかった	148	85.1%
あった	6	3.4%
わからない	20	11.5%
合計	174	100.0%



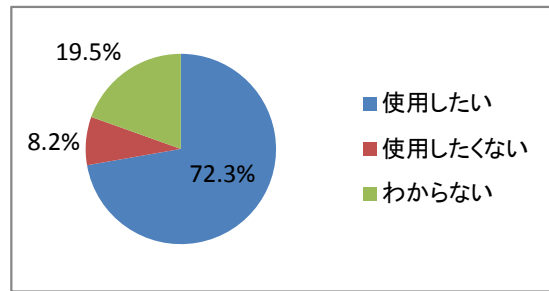
問21 問18で今までにジェネリック医薬品を使用していないと回答された方にお尋ねします。ジェネリック医薬品(後発医薬品)を使用していない理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可。n=79)

項目	人数(人)	割合(%)
ジェネリック医薬品(後発医薬品)が販売されていないから	11	13.9%
医師や薬剤師から勧められなかったから	34	43.0%
薬局に在庫がなかったから	3	3.8%
効き目や安全性に不安があるから	17	21.5%
医師に依頼しにくいから	6	7.6%
薬剤師に依頼しにくいから	3	3.8%
特に理由はない	12	15.2%
その他	12	15.2%



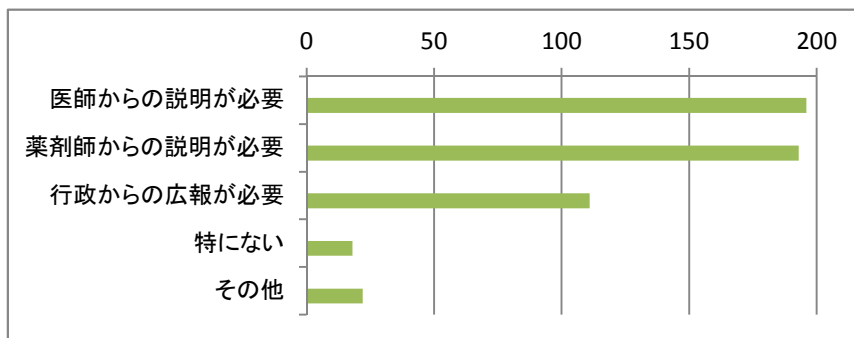
問22 今後、ジェネリック医薬品(後発医薬品)を使用したいと思いますか。(回答チェックは1つだけ。 n=292)

項目	人数(人)	割合(%)
使用したい	211	72.3%
使用したくない	24	8.2%
わからない	57	19.5%
合計	292	100.0%



問23 ジェネリック医薬品(後発医薬品)を安心して使用するためには、行政や医療機関等がどのようにしたらいいと思いますか。(回答チェックはいくつでも可。 n=292)

項目	人数(人)	割合(%)
医師からの説明が必要	196	67.1%
薬剤師からの説明が必要	193	66.1%
行政からの広報が必要	111	38.0%
特にない	18	6.2%
その他	22	7.5%

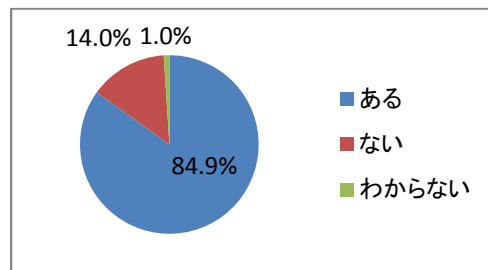


[その他の意見から抜粋]

- ・後発品メーカーの品質管理の行政の厳格な監督
- ・先発医薬品との同等性の情報をもっと提供すべきである。
- ・色々な媒体を通じて内容や安全性等を詳しく発信することが必要
- ・医師の判断で積極的に使用を指示すべき。
- ・企業は各健保組合から、国民健康保険のかたは、市町村から広報と金額差を具体的に知らせる

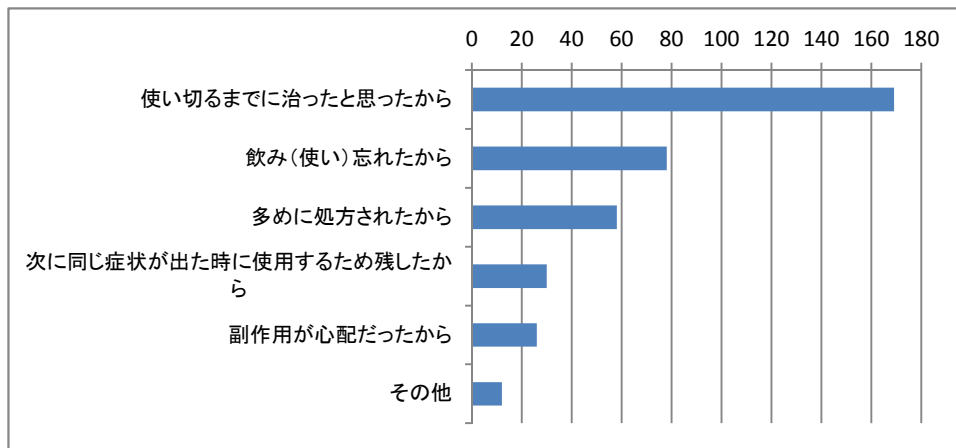
問24 あなたが今までに病院や診療所で処方された薬で、使い切らずに余ったことはありますか。(回答チェックは1つだけ。 n=292)

項目	人数(人)	割合(%)
ある	248	84.9%
ない	41	14.0%
わからない	3	1.0%
合計	292	100.0%



問25 問24で今までに病院や診療所で処方された薬を使い切らずに余ったことがあると回答された方にお尋ねします。余った理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも可。 n=248)

項目	人数(人)	割合(%)
使い切るまでに治ったと思ったから	169	68.1%
飲み(使い)忘れたから	78	31.5%
多めに処方されたから	58	23.4%
次に同じ症状が出た時に使用するため残したから	30	12.1%
副作用が心配だったから	26	10.5%
その他	12	4.8%

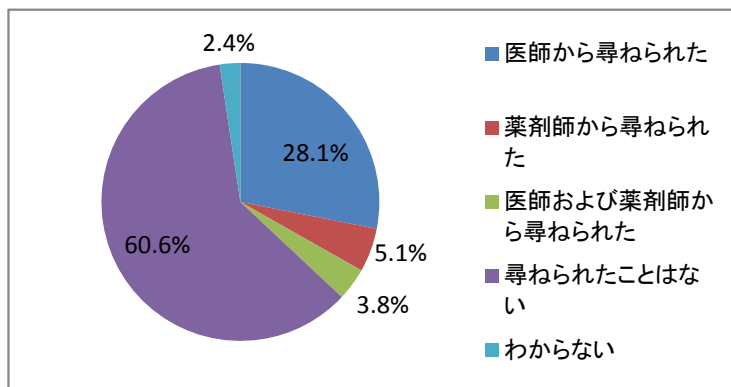


[その他の意見から抜粋]

- ・使っても治らなかった
- ・点眼薬、点鼻薬、点耳薬はどうしても余りやすい。もったいない
- ・頓服薬であり、症状が出なかったため、必要がなかった
- ・薬を変えたから
- ・途中で処方が変わったから。

問26 あなたは、処方された薬が余っているかどうか今までに医師や薬剤師から尋ねられたことはありますか。(回答チェックは1つだけ。 n=292)

項目	人数(人)	割合(%)
医師から尋ねられた	82	28.1%
薬剤師から尋ねられた	15	5.1%
医師および薬剤師から尋ねられた	11	3.8%
尋ねられたことはない	177	60.6%
わからない	7	2.4%
合計	292	100.0%



問27 その他、薬局や薬剤師、ジェネリック医薬品（後発医薬品）等についてご意見がありましたらお聞かせください。（抜粋）

○薬局、薬剤師の対応に関すること

・以前と比べ、薬を購入する時の、薬剤師の説明が丁寧になったように感じます。

・病院ボランティアをしているが後期高齢者が整形外来にかかる場合の湿布薬等の貼り薬の使い残しがかかりあると感じている。もはや治癒の見込みのないことを説明したうえで対処療法として出すのであろうが実際に処方どおりに使用しているか、残量の確認が必要だと思う。

・処方箋薬局で、薬剤師が薬を患者に渡すとき、回りに他の患者がいるにもかかわらず、薬の内容から病気を推測して患者から根掘、葉掘り、病名を聞き出して薬の説明をしているのは遺憾に思う。まず、病名を知られたくない患者がいると思う。薬の説明は大事だが、おしっこの出を良くする薬だの、陰部の痒みを抑えるだの、お通じを出やすくするだの、薬待ちしていて、そんな説明聴きたくないし、聞かれている患者の気持ちを考えていないのかと思う。個室対応すべきだと思う。

・ある薬局で気になったのですが、5月から、お薬手帳を持っていないと処方できないと言っているところがありました。他の薬局で発行された、お薬手帳ではなく、自店舗の物にしないとダメだと。

それって、おかしいですね。

お薬手帳を複数持って、調剤薬局ごとに変えるのは意味がないと思います。

・先日、風邪でクリニックから処方された薬を調剤薬局で受け取った時に他院でかかっている症状を聞いてくれることなく薬を渡されたのが残念だった。包括的な管理をしてほしいと思った。

○ジェネリック医薬品に関すること

・ジェネリック医薬品の使用について、医療費高騰の折、必要、不可欠であり、もっと行政はPRすべきである。

・病院に通うことは少ないですが、医薬品を使用する場合薬剤師からの説明、添付されている説明書等で十分満足しています。

ジェネリック医薬品については、世間の風評がいろいろで、特に慢性等継続的に薬を使用する人にとっては、副作用等薬害を心配される方が多いと思われます。医療機関は、薬害に対する不安を除くため、安全・安心についての告知が必要と考えます。

・必ずしも新薬がいいとも限らないし、ジェネリックは、ある意味、いいことも、悪いことも、状況が確定されているのだから、その功罪を明確にした上で、薬を出してほしい。ちなみに、薬局や薬剤師は、こちらから言い出さない限り、自分から「ジェネリック医薬品」があることは、絶対に言わない。急いでいる時など、ジェネリック医薬品にして欲しいことを言い忘れてしまった時など、どうしてジェネリックもあることを、一言伝えてくれないのか。。。と思ったこともある。今、日本は医療費が高騰しているのだから、少しでも、個人ができることはやっていかないと、と思います。

・ジェネリック医薬品というのは、説明はしていただけるのですが、もうひとつ得体のしれない感があります。もう一步ふみこんだわかりやすい、飲んでも安心だと思えるような説明やパンフレットがあればいいなと思います。

・医療費抑制の観点からもジェネリック医薬品が用いられることも仕方がないと思うが、質などについて判断する情報があまりにも少なすぎるし、どのような薬剤についてジェネリック医薬品が存在するのかは、よくわからず、存在しても、医師が処方に反対することもあり、どのような判断がなされているのかもよくわからない。とにかく、医師も薬剤師もメリット、デメリットを含めて、きちんと説明してほしい。わかるか、わからないかは別として。

・持病により定期的に医師の診察並びに薬局での薬の処方してもらっていますがジェネリック医薬品についての情報は一切聞いたことがありません。自身はジェネリック医薬品を使用していますが、他の患者さんで、薬局で申し出のに躊躇されているケースがあるようです。診察時とか処方時に医師等からジェネリック医薬品の説明があれば良いのですが。医師等の説明責任として、行政指導等の方法はないのでしょうか。

又、定期的に送られてくる「国民健康保険医療費のお知らせ」にジェネリック医薬品についての情報を書き込んではどうでしょうか。

・いつもジェネリック医薬品の薬を貰いますが、そうでない薬との違いがわからない。特許が切れた薬？と言われても意味がわからない。でも薬局で勧めるのだから良いのだろうと思い服用、使用していますが、もっと万人がわかりやすい表現で説明して頂けると有り難く思います。

・正直、ジェネリック薬品のデメリット部分がある場合、金額だけでなくその部分を説明してほしい。デメリットがないなら、ジェネリックをもっと前面に進めてほしい。今は、どちらにしますか？と患者まかせ。患者の責任にまかせているので、使うほうも使いにくいところがある。

・ジェネリック医薬品の事は理解しているつもりですが、使用する時は患者本人が医師、薬局にお願いするのでしょうか？患者はジェネリック医薬品の有無はどうすれば分かるのでしょうか？処方箋にはジェネリック医薬品の有無、価格の違い等は表示されていないと思いますし、薬局等で処方箋と違う薬品(ジェネリック医薬品)を提供してくれるのでしょうか？とにかくジェネリック医薬品を使用するための方法が良く理解できていないのが問題かと思います。

・ジェネリック薬は少し価格安いので自ら希望して使用しています。ジェネリック薬を使用していて悪くなった事も無いので、これからも使用します。

・医療費負担が大きくならないようにうまくジェネリックを利用して負担軽減を図るように医療業界自体が積極的に取り組んで従来のやり方を変えてほしい。

・長く服用されていることから副作用の心配もなく安心できることが第一である。効果に差異がなければ医療費を軽減できるので普及すべきである。

○医薬分業に関すること

・医薬分業になってから、処方された薬について詳しく説明してもらったり相談できる時間がとってもらえるようになって、安心して薬を飲めるようになりました。お薬手帳も、違う科の病院にかかったときでもそれを持っていくだけで、今どんな薬を飲んでいるのか一目瞭然で診察の時間短縮にもつながり助かっています。

・私自身、以前は薬剤師の役割が詳しくわからずに医師よりも軽んじてたところがあるのですが、入院した時に意識が変わりました。薬に関してはやはりプロなので、今後は薬剤師の活用の場がもっと広がって、役割が広く認知されることを期待します。
医薬分業があることで、薬の飲みあわせのチェックしてもらえますし、自分で薬を管理出来ないお年寄りなどの事故を防ぐ事も出来ると思います。そのためにはかかりつけの薬局を1つに決めておくことの重要性をもっと知らせて欲しいです。私も数年前まで、病院の隣の薬局に行かないといけないう思、5カ所の薬局をハシゴして、お薬手帳もいっぱいもってましたから…

・体調が悪くてしんどい時に、診療後また別の薬局に行くのは、かなりつらいです。かかりつけ薬局を決めても、診療に行った病院から遠ければ、そこまで行けずに最寄りの薬局に行きます。結局、行った病院の数だけ行った薬局にも行き、病院とセットになっている状態です。病院で一緒に薬を出してもらえたら楽なのに、と何度も思いました。年を取ったら、もっとつらくなるのではと心配です。お薬手帳があれば、薬の管理はできるので、わざわざ薬局に行くメリットがあるのか疑問に思います。

【用語の説明】

※1 ジェネリック医薬品(後発医薬品)

先発医薬品(先に開発された薬)の特許が切れた後に、別のメーカーから販売される、同じ有効成分を使った薬。開発に必要な経費があまりかからないため、先発医薬品よりも価格が安い。

※2 お薬手帳

処方された薬の名前や量などについて記録しておくための手帳。薬によるアレルギーの発症経験や薬局・薬店で購入して使用した薬についても記録しておくとい。

※3 医薬分業

医師または歯科医師が処方せんを発行し、薬局の薬剤師が調剤を行う仕組み。